

令和7年度 第1回学校運営協議会【報告】

1 日 時 令和7年7月17日（木）午前10時から正午まで

2 場 所 藍住中学校 校長室

3 議 事

○あいさつ（学校長）

○自己紹介

○授業見学

○学校経営方針について

○質疑応答

4 出席者

- ・学校運営協議会委員5名
- ・学校運営協議会アドバイザー1名
- ・藍住中学校管理職3名

計9名

5 協議内容

○学校経営方針について

○質疑応答

A委員 授業を真面目に受けている印象。昔とは違う。

先生と生徒の関係性が築けている。

不登校生徒の状況を知りたい。

⇒現在のところ、昨年度よりは少ないが、心配している生徒は多くいる。

6月末で10日以上欠席数がある生徒はその予備軍と考えており、
家庭や関係機関と連携を図りながら、欠席日数が増えないようにして
いく必要がある。

B委員 いじめについてどんな状況か。

⇒SNSへの書き込みからのトラブルは年度当初多かった。

校内での携帯電話の使用はどうしているのか。

⇒認めていない。

C委員 キャロッコ学級（町適応指導教室）について現在の状況は。

⇒本校からの参加数は徐々に増えてきている。増えすぎて雰囲気グワイグワイなるのも嫌う生徒もいる。

Dアドバイザー

落ち着いた生徒の姿が見れてうれしく思う。

3年生にいい空気感を感じた。先生と生徒のやりとりがよい。スクールサポーターと生徒の信頼関係が素晴らしい。ワークルールの掲示物には3年生はすべての行事は最後である、2年生の夏休みは楽しく充実させようという内面に訴えるものがあった。

学校はいろいろあってあたり前だが、楽しくみんなの笑顔が大切であ

る。

①不登校対応について

全く来られない生徒を学校に来れるように戻すのは難しい。誰かとつながっていることが大切（福祉・医療を含め）。

学校行事等を含め、「学校へ来ることが楽しい」と思わせることが不登校を少なくする。

②いじめトラブルについて

加害者・被害者ともに内面に問題をもつ。愛着形成に問題がある。

誰にでもあること、問題は起こるもの、問題を学びの機会にするという気持ちが必要。

③学力向上・授業改善について

生徒の学力向上には、生徒の「授業が分かった」だけでは不十分。定着が必要。定着には家庭学習（小学校からの生活習慣）が必要。

E 委員 生徒を伸ばすコツは笑顔で褒めること。